

JICA 環境社会配慮ガイドライン異議申し立て 審査
審査役と申立人の面談記録（逐語、日本語）

（審査役に提出された記録から申立人の発言を黒塗りにしたもの）

2017年8月21日

* 本記録の目的と手法、留意点については別紙参照。

【実施日・場所】

2017年7月30日 - 7月31日、ナンブーラ州

【出席者】

- 審査役：松下和夫教授、金子由芳教授、（通訳：男性が担当）
- JICA 審査役事務局：Ochi Naoya, Special Advisor for Objection Procedures / Shinoda Takanobu, Secretariat of the Examiner for the Guidelines
- 申立人： 人数不明（通訳：女性が担当）
- 代理人： 2名（通訳：女性が担当）

【ヒアリングの手法に関する事前合意】

（代理人報告書から）

29日（夜）に、審査役から代理人に提案があり、次の手法が同意された：

1. まず申立人に異議申し立てをした経緯を自由に話してもらい、審査役はただこれを聞く。これに1日目の午前をあてる。
2. その上で、審査役から、いくつか質問をするので、それに答えてもらう。おそらくこれに1日目の午後がかかる。
3. 不足があれば、2日目を活用する。

【議事録】

2017年7月30日 午前9時～

- 松下審査役：我々は異議申し立てを受けとった。そこで、皆さんが受けたというダメージと懸念について話を聞きに来た。具体的にまず問題を話してほしい。

- 申立人 A：

[Redacted content]

[Redacted text block]

<<審査役が止める>>

*ここから逐語訳。

- 松下審査役：

- ① 質問していいですか？
- ② プロジェクトが始まる前に土地収奪があったと聞いたが、具体的な事例はありますか？

- 申立人 A：質問が理解できない。

- 男性通訳：JICA のプロジェクトが始まる前に土地収奪があったのか？事例を紹介してほしい。（* 青字のように通訳）

- 申立人 B：

[Redacted text]

- 代理人：

- ① 質問が明確ではない。
 - ② 間に入って申し訳ない。しかし、全員にとって質問が明確でなくてはならない。（* 男性通訳：「確かに、この部屋にいる全員が理解しなければならない。例えば、申立人 A は理解していない。申立人 B は理解したようだが、全員が理解しなければならない」）
- 女性通訳：申立人に向かって、質問の中身を繰り返す。

- 申立人 A：

[Redacted text]

- (23 分) 松下審査役：

- ① 感謝。プロサバンナの前に土地収奪が起こっていたと分かった。（* 双方通訳・代理人も訂正入れず。）
- ② プロサバンナ・プロジェクト、or マスタープラン・デベロップメントが始まったことによって、土地収奪が加速化したのか？（* 通訳：「プロサバンナの関連事業が原因となって、あるいは JICA の事業、つまりマスタープランの策定によって土地収奪が促進されたのか？」）

<<長い沈黙>>

- 申立人 C :

[Redacted text block]

- 申立人 D :

- 代理人 :

➢ 質問をもう一度明らかにする必要がある。マスタープランの中身や書かれているプロジェクトが導入されると土地収奪は起こるのかというのが質問なのか、あるいはマスタープランによって土地収奪が促進されたのかという点の質問なのか、もう一度、質問をクリアーにしないとイケない。（* 赤字は通訳されず）

- 女性通訳：情報を明確に伝えないとイケない。

- 代理人：まさに。混乱が生じている。

- 男性通訳：審査役にウイスパリング

- 女性通訳：

[Redacted text block]

[Redacted]

● 申立人 E :

[Redacted]

- ⑤ こういふことは、以前は起きてない。これは今起こっていること。これらのことが始まっている。
- ⑥ つまり、どういふことか。プロサバンナが始まる前にはなかったのに、始まった後に土地収奪が起こり始めた。（* 通訳不明瞭）

[Redacted]

● (29分) 金子審査役 :

- 彼にこれについてももう少し聞いてください。この企業は、土地利用登記の書類を持ってきて、それを見せたのか？

● 申立人 F :

[Redacted]

- ④ 言いたいのは、マレマだけでなく、北部全体がそうになっているということだ。ナンブーラ州の沢山の郡、特にプロサバンナ事業の事業対象郡ではよりそうである。これらのところで土地を農民たちが失うケースが続出している。（* 赤字の訳が不明瞭）

● 申立人 G :

[Redacted text block]

● (37分) 金子審査役 :

- ① ちょっと、いいですか？マスタープランの準備は…プロセスは常にteaching?である。
- ② 確かに、2012年に始まった時には、この地域に大規模な土地が余っている、それを活用するとの計画であった。
- ③ でもその後、JICAは調査をして、正確な情報を獲得した。その結果、ナカラ回廊地域には土地が余っていない（limited amount of landしかない）ことが分かった。

- ④ これを受けて、彼らは最初の考えを変更し、それでインテリン（暫定）レポートを作った。
- ⑤ それぞれのインテリン・レポートは、現実に基づいて作成され、中身も変えられた。
- ⑥ その結果、当初の大規模な投資の計画から、特に小規模小農を促進、いや守る（promotion, protection of small-scale peasants）ものになった。
- ⑦ 我々にはこの情報がある。
- ⑧ あなたたちは、この情報、つまりプロサバナのコンセプトが変わったという情報を持っているか？
- ⑨ Studyのプロセスで、コンセプトが変わったことについて。（*男性通訳：大体この内容を通訳しているが、かなりもってまわった言い方をしているため分かりづらい。途中、女性通訳アシストしようとするが、「使われていない土地」という言葉についてのみ補足）。

- 申立人 H :

[Redacted text]

- 代理人：通訳の問題かもしれないが、質問が難しすぎる。申し訳ないが。

- 女性通訳：

- 彼女（金子氏）の質問・説明は明確であった。女性の説明をポルトガル語で繰り返す。
- ポルトガル語>「そして、彼女（金子審査役）が聞いているのは、『この情報を持っているか？』ということ」。

- 松下審査役：英語でお願いします。

- 女性通訳：

- 英語>今、彼女（金子審査役）の説明と質問を繰り返している。この男性は質問部分に対して答えようとしたのだが、実際はマッチしない答えだった。質問が理解できないようだ。だから、もう一度説明して、質問の目的を理解してもらい、その上で回答をもらおうと思う。
- ポルトガル語>では、彼女の質問、情報を持っているか、との質問について。

- 申立人 I :

[Redacted text]

● 申立人 J :

[Redacted text block]

● 申立人 K :

- (金子審査役がいう)「JICA がプロサバンナで導入しようとしているという小規模農家の支援」の話だが、これ(異議申立の審査)とどう関係しているのかわからない。(＊通訳赤字の「これ」の意図を把握せず)

● 松下審査役 :

- 色々沢山話したいようですが、10分休憩を提案してもいいでしょうか？
- 休憩前には、あなたが話したいようなので、どうぞ。

● 申立人 L

[Redacted text block]

[Redacted text block]

● 申立人 M :

[Redacted text block]

● 金子審査役：

- ① 質問をしていいですか？
- ② 実際は、マスタープランのアイディアは、まさにあなたがおっしゃったためのもの。マスタープランのドラフトは、まさに議論のためのものである。
- ③ JICAが出したドラフトは、これはtentativeなドラフト。これは初期のもので、地元農民とのコンサルテーションを改善するためのもの。これは最終版、完成版ではない。これは、JICAが押し付けたものではない。これは議論のためのもの。
- ④ これがマスタープランのnotionである。これがJICAの側が考えていること。
- ⑤ だから、私の質問は、このような説明を政府か誰かがしたのか？つまり、マスタープラン・ドラフトのこのようなpictureについて？

<<沈黙>>

● 松下審査役：

- ① 多くの人がマスタープランに関する情報へのアクセスがない。
- ② **人びとはプロジェクトに反対しているのではなく、何が起きているのか知りたいということだった。**
- ③ それは理解可能である。そこで、私の質問は、コミュニケーションやインフォメーション上のギャップをどう改善できるか。休憩後、この方向で議論を続けたい。

11時から再開を約束。

<<2017年7月30日 午前11時～12時半>>

● 松下審査役：

- ① マスタープランに関して何が起きているか、リアルな情報についてアクセスがある人は少ない。
- ② したがって、私の憂慮 (concern) は、多様なステークホルダーの間で、どうやってコミュニケーションの失敗 (failure) や情報アクセスを改善するのかという点にある。

- ③ あなたたちによると、2015年4月に公聴会（public consultation）があり、招待された人ばかりが参加した。何人かは参加ができたが、質問しようとしたら脅されたということだった。（*通訳、「発言」と訳す）
- ④ どのようにJICAがこのコンサルテーション（consultation）に関与していたのかについて知りたい。もし情報、知っていることがあれば。（*赤字を「意見があれば」と言い換えている）

- 申立人 N :

[Redacted text block]

- 松下審査役：ありがとうございます。他に情報やコメントはありませんか？

- 申立人 O :

[Redacted text block]

- 申立人 P :

[Redacted text block]

[Redacted text block]

- 代理人 : Traditional Leaders Area のこと。
- 女性通訳 : 伝統的チーフをレグロと呼び、行政の一部を担っている。彼の管轄地域をレグラード (レグロ領) と呼ぶ。 (* 「パラマウントチーフ」のこと)

● 申立人 Q :

[Redacted text block]

[Redacted text block]

- 松下審査役：ありがとうございます。

- 申立人 R：

[Redacted text block]

● 申立人 S :

[Redacted text block containing multiple paragraphs of information, all obscured by black bars.]

● **松下審査役**：

- ① 重要で貴重な情報や意見をありがとうございます。
- ② 人権が尊重されるべきということについて、完全に同意します。
- ③ しかし、ここには JICA 環境社会配慮ガイドラインの審査役としてきている。
- ④ 我々のフォーカスは、JICA がガイドラインに書いてあることに違反しているか（した事実があるか）どうかに狭められなければならない。
- ⑤ このポジションを理解してもらえると有り難い。

● **金子審査役**：

- ① これらの情報についてありがとうございます。
- ② 聞いているうちに、サスペンションが沸いた。プロサバンナによる abuse に関する点。
- ③ あなたたちのいっている一つのプロジェクトのケース、2009 年から 2011 年というのは、その時期に JICA のプロサバンナは未だ始まっていなかった。
- ④ 2013 年からいくつかのトライアルが始まったが、そのサイズは小さかった。さらに、メインは、小農やコーペラティブ対象のものだった。
- ⑤ だから、そのような大規模の、3000 ヘクタールなどの土地収奪などの関与は不可能だった。
- ⑥ **これらは基本的な理解は、JICA の…悪い…だろうが、・・・。**（* 英語が聞き取り不可能。通訳は、「多くのことが JICA の abuse として説明されているが、私の意見では違うと思う」と訳されていると考えられる。要確認）
- ⑦ 質問は、これについて JICA に聞いたこと、何らかの働きかけをしたことはあるか？

<<沈黙>>

● **代理人**：

- ⑥ 我々の審査役に、ここにいらっしゃる皆さんの代理人として一つ提案させてください。**審査役が理解されているか分かりませんが、「プロサバンナ」には多様な角度での議論が存在しています。**（* 赤字訳なし）
- ⑦ 異議申し立てのプロセスの中で、申立人との代理人としての議論の中で、ここで今日出てきたような様々な側面からの話が出ました。中には、プロサバンナに関わるものもあれば、そうでないものもありました。
- ⑧ 議論の末に、PD に関わるものに申立ては絞りましたが、プロサバンナにはいくつかのコンポーネントがあります。
- ⑨ **プロサバンナには3の柱があり、互いに関係しあって進められてきました。**
- ⑩ **審査役にお願いしたいのは、今日農民たちが話したように、彼らのコミュニティのレ**

ベルでのプロサバナの理解を●●

- ⑪ 議論の進め方について提案させてください。
- ⑫ 小農に年代をにおける正確さを求めるのは酷であり、●●。(* 以上赤字訳なし)
- ⑬ 代理人として、異議申し立て内容に沿って議論を進めてください、と要請させていただきます。

<<沈黙>>

● 申立人 R' :

[Redacted text block]

● 金子審査役 :

- ① 異議申し立てのスコープについて。●JICAのコンテンツにあわせないといけない。JICAのアクト（行動）にあわせなければならない。もしこれらのプロジェクトが JICA によってサポートされていれば、それは異議申し立てとして成立する。
- ② おっしゃったことは、2009 年-2011 年の 3000 ヘクタールの土地収奪については、もちろんプロサバナは開始していたが、活動 (activities) 自体は始まっていなかった。
アクセレーションしたという主張はありかもしれない。(* 赤字訳さず)

- ③ JICA が（問題プロジェクトを？）サポートしていたということについて、具体的に説明してくれるか？

<<沈黙>>

● 代理人：

- ① 皆がきちんと理解したい。審査役が言わんとしていることを。

<<女性が通訳中に、金子審査役が松下審査役に話しかけている>>

- ② 申立人の間に混乱が生まれているから。
③ JICA の名前がないといけないということか？つまり、JICA が…（*赤字訳されず）

● 金子審査役：

- ① JICA がこれ（被害が生じる事態）をサポートしたということについて。
② 独立した審査役として理解しなければならない。スコープはカバーできる。JICA の間違った行動に関することが我々のスコープ。だから、もし JICA の活動の結果として被害が生じたのであれば、カバーできる。

● 代理人：

- ① 代理人として指摘したいことがある。ここまでの間に（以上の説明に限らず）、（金子）審査役が述べてきたことは、JICA が言っていることがすべて事実（verdade/truth）だとの前提に基づいて、話が展開されている。
② それが、申立人に混乱をもたらしている。
③ JICA が書いていることがすべて正しいとすれば、この審査は意味がなくなってしまう。それが第一のポイント。
④ 第二のポイント。異議申し立ては、・・・。

<<代理人の発言中に、金子審査役が松下審査役に話しかけている>>

<<通訳が赤字を訳し始めた途端、松下審査役が話し始める>>

● 松下審査役：

- ① 我々は JICA をデフェンドするつもりはない。
② 我々はいくつかの点での JICA の関与について知りたい。
③ 例えば、人権侵害、土地収奪、…モザンビーク政府や企業●●…もしこのプログラムが、そういう結果を生んだのであれば、（つまり）環境社会配慮ガイドラインを違反し

たのであれば、JICA の理事長に報告しなければならない。

- ④ だからこれらの質問をしている。
- ⑤ 私は同意する。人権侵害や脅迫などが深刻であること。
- ⑥ しかし、誰がこれを招いたのか知る必要がある。

● 申立人 T :

[Redacted text block for 申立人 T]

● 申立人 U :

[Redacted text block for 申立人 U]

● 金子審査役 :

➢ 私たちはディーテールが知りたいだけなのだ。

● 松下審査役 :

- ① 2015年の公聴会は、私たちの知る限りではモザンビーク政府によって行われた。JICAによってfinanceされたということ？
- ② いくつかのmisconductやintimidationや反対する人の隔離があった。それは誰によってなされたのか？（*通訳>「責任があるのは誰か」と追加して訳している。）
- ③ JICAがこの問題を知っていたのか？JICAは適切な対応をしたのか？

● 申立人V：

[Redacted text for Applicant V]

● 申立人W：

[Redacted text for Applicant W]

● 申立人X：

[Redacted text for Applicant X]

<<沈黙>>

- 金子審査役：MAJOL？
- 松下審査役：MAJOL 社。
- 金子審査役：6 時間逮捕されたというのは 20---2012 年？
- 松下審査役：2012 年。（* 当事者は 2015 年と答えている）

- 代理人：（* 赤字は訳されず）
 - ① 審査役は質問をして、申立人は一生懸命答えたが、それに対して審査役は受け止めてくれないということなのだろうか？
 - ② 3 つのことが同時に質問された。一つ目が、JICA は知っていたのか、いなかったのか？これについてはすでに回答があった。次に、JICA は何かしたのか、しなかったのか？関与していたのか？そして、それを正すために何をしたのか、しなかったのか？
 - ③ 質問がいずれも複雑すぎて申立人が理解するのが困難である。いくつかの複雑なことについては、マクア語の通訳が入るべきだ。私自身はマクア語ができないので手伝えないが。審査役としてマクア語の使用を許可してくれないか？
 - ④ 質問は一つずつされるべきだ。1) JICA は関与していたか？、2) JIA は知っていたか、2) 正すために何をしたのか？を別々をお願いしたい。

- 松下審査役：分かった。
- 代理人：
 - ① マクア語を使えばかなり助けになる。私たちはマクア語ができないが、マクア語を活用すれば申立人の理解は促進できる。
- 松下審査役：
 - ① あなたのポイントは分かった。私の質問、特に人権分野における JICA の関与についてのものは簡単ではなかった。

- ② それは我々の報告書の最重要ポイントなので、そのように聞かざるを得なかった。
- ③ 我々として、午後に（会議を続けることを）オーガナイズする。インフォーマルな会議を貴方達同士で開いてくれればいい。

- 代理人：もう一度（質問を）明確にしてほしい。
- 松下審査役：午後を再開する前に・・・。
- 女性通訳：キーポイントを事前にもらえれば、彼ら全員で話し合っただらクリアーに話せる。その会話は互いにマクア語でやればいい。代理人なしで。
- 代理人：ブレットポイントを明示してほしい。
- 松下審査役：
 - ① 人権侵害、インティミデーション、JICA はどう関与していたのか？、2) JICA はこれらについて知っていたのか？、3) JICA はこれを知った時、これを正すために何をしようとしたのか？
 - ② 特に、2015年4月マスタープランの公聴会に関するもの。
 - ③ 土地収奪や人権侵害に関して。
 - ④ 明確になったのでしょうか？
 - ⑤ 答えられないとすれば、それもそれでいい。

- 代理人：申立人は分かったか、どうか…。代理人は参加できないので。（申立人に向かって）明確でなければ今聞かなければならないよ。我々はいないから。（*通訳なし）
- 申立人：ポルトガル語で書いてくれないか？
- 男性通訳：私が書く。

- 松下審査役：
 - ① 一つ目が、2015年4月のマスタープランあるいはプロサバンナに反対する人達への人権侵害に JICA は関与していたのか？
 - ② 二つ目が、これを JICA は知っていたのか？
 - ③ 三つ目が、JICA はこれを正すためにどのようなアクションをとったのか？
 - ④ 他にインティミデーション、人権侵害、土地収奪のケースはあったのか？

<<昼食休憩後>>

- 申立人 a :

[Redacted text block]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

● 申立人 b :

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

● 申立人 e :

[Redacted text block]

● 申立人 f :

[Redacted text block]

● 申立人 g :

[Redacted text block]

[Redacted text block]

● 申立人 h :

[Redacted text block]

● 申立人 i :

[Redacted]

● 申立人 j :

[Redacted]

● 松下審査役 :

- ① ディーテールをありがとうございます。

<<松下審査役と金子審査役相談>>

- ② 次の 이슈ーにいてもいいでしょうか？
- ③ あなたたちは、契約の問題、MAJOL との契約について話した。
- ④ JICA によると、この契約は、ステークホルダーとのコンサルテーションをスタディするためのものだという。
- ⑤ あなたたちが指摘するこの MAJOL との契約の問題のディーテールを教えてください。

● 申立人 k :

[Redacted]

● 申立人 l :

[Redacted text block]

● 申立人 m :

[Redacted text block]

● 金子審査役 :

- ① プロサバンナ？反対側？
- ② 明確にするために、質問させて下さい。
- ③ プロサバンナを賛成している人たちの方が、DUAT が容易に取得できるということですか？

● 申立人 m1 :

[Redacted text block]

[Redacted]

女性通訳： [Redacted]

● 数名の農民： [Redacted]

● 申立人 n： [Redacted]

● 申立人 m2： [Redacted]

● 金子審査役：

- ① MAJOL が使っているメソッドについて教えてくれないか。
- ② 農民を説得しようとする手法について。
- ③ 特に、お金について。どうやってお金が使われたのか？

● 申立人 o： [Redacted]

● 申立人 m3：

[Redacted]

● 松下審査役 :

- ① JICA からの情報によると、JICA が MAJOL を雇ったのは、ステークホルダーと対話をスタディするためだったという。
- ② 彼らは . . .
- ③ 私の . . .
- ④ 私はそのプロセスがどうだったのかは知らないが、契約の結果、新しい市民社会対話メカニズム (MCSC) が出来た。
- ⑤ この MCSC の代表は、Mr. Mutoua である。
- ⑥ また SOLIDARIEDADE の代表でもある。
- ⑦ 私は、あなたの気持ちについて知りたい。MCSC の活動について。

● 申立人 p :

[Redacted]

● 申立人 q : [Redacted]

● 申立人 r :

[Redacted]

● 金子審査役：

- ① JICAによると、MCSCは政府のイニシアティブではなく、第三者のイニシアティブで設立されたという。
- ② 色々なステークホルダーの意見を聞くためであったという。
- ③ (プロサバナの)賛同者だけでなく、批判的な人達の意見も聞くということだった。
- ④ MCSCはすべての人々に参加を呼びかけている。反対者にも。
- ⑤ しかし、あなたの見方によると、分断を生み出したと。別々の団体の中に。対立まである。
- ⑥ それが、**コンサルテーションによって?**、強化された。
- ⑦ 私の質問は、どうすればメカニズムを良くできるのか?
- ⑧ つまり、どうすれば色々な見方の人達とインクルーシブなメカニズムにできるのか?
- ⑨ あたなに新しいアイディアはあるか?
- ⑩ このメカニズムをどう改善できるか?すべての意見が反映されるように。
- ⑪ あなたたちのプロポーザルが知りたい。
- ⑫ 新しい対話の形の提案でもいい。別のグループでの。あれば、教えてほしい。
- ⑬ もし良いプロポーザル、よりよい農業開発の手法があれば、教えてほしい。サジェスチョンや意見があれば。

● 申立人 s：

[Redacted text block]

● 申立人 t：

[Redacted text block]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

なぜなら、我々は、安全でない (insecurity) の状態におかれているからだ。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

● 松下審査役：

- ① 人権侵害、土地収奪、intimidation、セパレーション、差別 (?)、いくつかはモザンビーク政府や投資家、ビジネス関係者、企業によってやられている。いくつかは JICA によって関与されている。多分。ここについては、我々は慎重に検証しなければならないが、同意するのは、人権侵害はストップしなければならないということだ。
- ② また、農民の土地への権利は守られなければならない。
- ③ 声を上げた人達への intimidation は避けられなければならない。
- ④ しかし、我々がすでに述べたように、私たちは JICA の環境社会配慮ガイドラインの審査役であり、私たちは最大の努力をして、今日の議論をベースにして報告書を作るが、そのマンデートの範囲内で行われる。
- ⑤ もし、モザンビークの農業開発の未来について、良いサジェスションがあればお願いしたい。ビジョンなど、改善した対話のシステムについて意見があれば。異なる人々の、政府、小農、JICA 等の…。

● 申立人 u：

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

<<沈黙>>

● 代理人：

- ① もう一度失礼します。代理人として発言して良いですか？
- ② 審査役に思い出してほしいと思います。なぜこれらの人々が異議申し立てをせねばならなかったかというところに立ち戻らなければならないと思います。
- ③ 彼らは「(プロサバナの) 既存の構造 (mechanisms)」やその枠内で提案されるすべてのオプションに疲れきったからだ。(*赤字訳さず)
- ④ それが、モザンビーク政府のものであれ、ここでの JICA の代表者 (JICA モザンビークや契約コンサルタント) であれ、日本のレベル (JICA 本部) のものであれ。(*赤字訳が不明瞭)
- ⑤ これらの人々は、このプロセスで、力が弱められ、影響/操作を受けやすくなって、そして、様々な行為や violation などによる被害を受けやすくなった。
- ⑥ そういうことを経て、信頼を失ってしまっている。
- ⑦ 過去 4 年間にわたって繰り広げられたこれらの violation や懸念に対して、何もしてもらえなかったからだ。(*通訳は「予防してくれなかった」と訳す)
- ⑧ このような環境下において、申立人は、これらの事業担当部局や人たち、そして色々なオプションへの信頼を失ってしまった。
- ⑨ 代理人としていえることは、こういう理由で、申立人たちは、異議申立書が書かれ、審査役にここまで来てほしいと願ったのだという点である。(*赤字訳さず)
- ⑩ しかし、審査役からすでにあるもの (as coisas) をどうしたら改善できるかと、逆に聞かれてしまっている。だが、まずはこの状況とコンテキストに基づいて、物事を見なければならぬ。つまり、信頼が失われてしまっているという現実について。(*赤字訳さず)
- ⑪ このプロセスが進められる手法 (” conduction”) への信頼が失われた。この事業に関わるすべての担当者・関係者らの行為が、それを招いた。(*赤字訳さず)
- ⑫ そこで、審査役から「最良の手法は何か」との問いが発せられる時に、言わなければならないのは、この信頼欠如の問題を考えなければならないという点である。
(*男性通訳による代理人への確認：あなたの要請は、審査役がどうしたらいいかと聞いたが、あなたの言いたいのは、この信頼欠如という環境を前提にしなければならない、ということか?)
- ⑬ そうしたことだ。すべての彼らの試みた手法は、ここ (異議申立) に至る事態を生み出したからだ。改善するよとってやられたことが、申立人の側から見れば物事を悪

化させてきた。（*赤字訳さず）

- ⑭ その結果、「何もまったく信用しない」という状況/環境（ambiente）が作り出されてしまった。
- ⑮ だから、こういうことを置き去りにしたまま、問題を解決する、改善をするといって、信頼の問題を放置するとするならば、何も解決しないだろう。（逆に言えば、）**信頼が醸成できれば、ジレンマはなくなるだろう。**（*男性通訳：赤字は訳されず）

● **松下審査役：**

- ① それは難しい 이슈 だ。
- ② なぜなら、一度信頼を失った時に、どうやったら…。
- ③ 信頼を一つずつ獲得するしかない。

<<沈黙>>

● **松下審査役：**

- ① あなたたちに伝えたいのは、マスタープランは完成版ではないということである。
- ② これはテンタティブなドラフトにすぎない。
- ③ JICA は、彼らは多様な意見を出来る限りインコーポレートしたいといていた。これらの中に入れたい、プランを良くするために。

● **金子審査役：**

- ① ここにくる前に JICA、事業担当部の人達にインタビューした。彼らは、実際、沢山のことを学んでいる。あなたたちの多様な意見から。公聴会で生じた問題から。
- ② マスタープランでは、これはすでに公開されているものであるが、新しいセクションを設けた。小農の土地の権利を守るためには、ステークホルダー会議が重要で、特に小農の参加が必要と書かれている。
- ③ 農民の参加型の意思決定が重要だと書いている。
- ④ あなたたちの声には影響力がある。
- ⑤ あなたたちが文句を言っていることが、アテンションを獲得している。これらの変化を生んでいる。

● **松下審査役：**

- ① もしよろしければ…ぜひ聞きたいのだが、どの程度、マスタープランの中身を知っていて、どのポイントについてこれをどう評価しているか聞かせてほしい。

● **申立人 v：**

- [REDACTED]
- [REDACTED]
- 代理人：どのバージョンのことか、聞いた方が良いのでは？
 - 金子審査役：最新のもの。
 - 申立人 v1： [REDACTED]
 - 代理人：どの年のものか聞いた方が良い。正確を期した方が良い。
 - 申立人 v2： [REDACTED]
 - 金子審査役：理解しているものでいい。その最新のもので。

- 申立人 v3： [REDACTED]
[REDACTED]
- 金子審査役：
 - ① これ（最新バージョン）は秘密にされているわけではない。ただし・・・JICA の情報の拡散が不十分だった。

<<複数申立人の笑い>>

- 申立人 v4： [REDACTED]
[REDACTED]

<<複数申立人の笑い>>

- 申立人 x：彼女、また JICA を代弁してるね。（*訳されず）
- 代理人：それは重要な点だ。（訳されず）
- 男性通訳：彼（代理人）が知っているのは、審査役が、また JICA のために（on behalf of）回答していると。
- 金子審査役：ノーノー。

<<複数申立人の笑い>>

- 代理人：
 - ① 再度失礼します。
 - ② 審査役は、JICA が言っていることは事実だと信じて、その前提で話を進めている。これは、代理人として、気づいた大変重要なポイントである。（*通訳次の様に意識>「明

確にする必要がある。審査役は JICA の説明が正確だと言いつけている」)

● 金子審査役：

- ① あなたたちに誤解を与えたのならすみません。
- ② すみません。でも、実際は、この点について、私は、ある種 JICA を批判している。
- ③ 最新のものはウェブサイトにある。
- ④ だから隠されてはいない。
- ⑤ でも追加の拡散が不可欠。
- ⑥ 確認したいのですが、皆さんの手元にあるのは、ゼロドラフトと呼ばれているものですか？

● JICA 審査役事務局：ポルトガル語も…（同じと知っている？）

● 男性通訳：versão zero zero draft にアクセスがあった？

● 申立人 y： [REDACTED]

<<金子審査役、松下審査役、JICA 審査役事務局と相談>>

- 金子審査役：あなたたちにアクセスがあったバージョンのマスタープランで、どの部分が最も問題だと思ったか？

<<沈黙>>

- （男性通訳：同じ質問をポルトガル語で繰り返す。）

<<沈黙>>

- （* 男性通訳：同じ質問をポルトガル語で繰り返す。ただし、「混乱を生み出した部分」と追加で訳す。）

● 申立人 z： [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[Redacted text block]

<<審査役同士で相談>>

- 松下審査役：私の手元に最新のマスタープランがある。これは JICA のウェブサイトにあるものである。
- JICA 審査役事務局：プロサバンナのウェブサイトです。JICA でなく。
- 松下審査役：プロサバンナのウェブサイトにあるそうです。ナカラ回廊農業開発マスタープランという名称で。

● 申立人 1：

[Redacted text block]

● 申立人 2：

[Redacted text block]

● 金子審査役：

- ① 確かに、JICA は情報拡散の努力をもっとしなければならない。
- ② マスタープランには、土地収奪を回避するための制度に関する新しいセクションが設けられている。
- ③ だから…これは交渉可能だ。
- ④ あなたたちのプロポーザルが…マスタープランを改善できる…あなたたちの暮らし…マスタープランを持つ意味が出てくる？（*聞き取りが困難。通訳も違う訳をしている様子だが、正確ではないと思われる）
- ⑤ あなたたちは影響力がある。
- ⑥ あなたたちは声を上げ続けてきたから、マスタープランの中身は成長/増（grow）している。
- ⑦ 他に新しいセクションが出来ている。農民のオーナーシップについて。（*通訳が理解できない）
- ⑧ 農民の意思決定のリーダーシップについて。
- ⑨ 私たちができるのは、JICA に改善するように言うことができる。情報の伝達の方法について。
- ⑩ 追加でいうと、あなたたちは他の改善してほしいポイントがあるか？

<<長い沈黙>>

● 申立人 3：

[Redacted text block]

● 申立人 4：

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

● 申立人 5 :

[Redacted text block]

● 松下審査役 :

- ① あなたたちのサジェスチョンを take note した。
- ③ 国際協力や援助は、皆さんがシェイプしたいと考えている未来を応援することだと思う。
- ④ マスタープランは、その道をガイドする。あなたたちが将来をどうしたいと考えているかの道を。
- ⑤ 勿論、技術的な困難や誤解もあるだろう。
- ⑥ この誤解や間違いを少しずつ解消していきたい。

- ⑦ 今日聞いた質問やコメントやオブザベーションは大変興味深いものだった。
- ⑧ 勿論、私たちはリミテーションがある。
- ⑨ 他にコメントがあるか分からないが、明日朝に半日ある。

- 申立人 6 : 明日にしましょう。

<時間の調整。審査役の 9 時開始の提案が、代理人の提案で 8 時に変更>

<農民から翌日のアジェンダ（質問内容）の確認がなされるが、その際には審査役から「特になし」との回答>

2017 年 7 月 31 日 午前 8 時～

- 松下審査役 :

- ① 昨日はとても良いミーティングだった。
- ② 今朝は、ラップアップをしたいと思います。
- ③ 昨日述べた通り、追加のコメントや情報にオープンである。
- ④ それに加え、あなたたちのコメント、どのように現在の状況を改善するかについて聞きたい。
- ⑤ 多様なステークホルダーとのコミュニケーションをどのように改善したいか。
- ⑥ そして、JICA に何を求めるか。

<<長い沈黙>>

- 男性通訳 : 質問を繰り返す。

<<長い沈黙>>

- 申立人 7 :

[Redacted text block]

[Redacted text block]

● 申立人 8 :

[Redacted text block]

⑥ [Redacted text block]

● 申立人 9 :

[Redacted text block]

● 申立人 10 :

[Redacted text block]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

- 金子審査役：コンサルタントの件だが、真の小農に●としなければならない。どのよう
うに？（*聞き取れない。通訳はマッチしていないように聞こえる）

- 申立人 13：●●（笑い）

- 申立人 14：

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

- 金子審査役：

- ① 審査役は JICA を代表していない。
- ② ただ、私は二つの情報を提供できる。
- ③ JICA 事業部署との話に基づけば、彼らは、地元の小農が受け入れうる、適切な農業の
ベース（?）、手法を探している。
- ④ 彼らはトライアルとして 3、4 つのタイプのアプローチを作った。それらのすべてが
家族農業に基盤をおいている。
- ⑤ 農業組合、家族によって構成。家族農業による小さいアソシエーション。他のものは、
各家族農家の中ぐらいのアグリビジネスと契約関係を持つ。
- ⑥ だから世界に沢山のアグリビジネスのプログラムがあり問題が出ているのを知ってい
るが、JICA は契約農業と家族農業との良い形を探っている。
- ⑦ JICA は外部者である。JICA はあなたたちの経験から学びたいと願っている。だからあ
なたたちのサジェスチョンを求めている。農業の最適な手法について。
- ⑧ もう一つ述べたいのが、日本について。日本は工業国として知られていて、世界の中

でも最も工業化された国として知られている。

- ⑨ しかし、99%を超える日本の農民は家族農家である。1ha以下の農地をもっている。
- ⑩ 日本の農家が土地の権利が守られてきたのは、良い法律や、良い機関があったから。
- ⑪ 他にも institutional なものが●●機能している。
- ⑫ だから、これら二つの比較研究をするのがよい。モザンビークと日本。私は、両者の間に、多くの類似点を見出している。
- ⑬ これが考えていること。

● 代理人 A :

- ① 指摘させてください。
- ② 「家族農業」というとき、それは「家族による農業」だけを意味している訳ではないということ。
- ③ 農業資材（種子・農薬・化学肥料）、マーケットアクセス、市場化、●、灌漑など、すべてのことを含む。
- ④ モデルというときには、そこまで含んで議論しなければならないのだが、（審査役が述べているのは）どのモデルのことなのでしょうか？
- ⑤ （審査役が日本の農業と）比較するという（提案している）ことが意味していることは、何なのでしょう。そこから導き出される、この件（申立て）の解決とは何なのでしょう？

● 代理人 B :

- 「家族農業のモデル」という時には、単にプログラムに家族農業を加えるという話ではない。
- それを超えたところにある、（申立人らが先に述べたような）このように多様な点から考えることを意味する。
- ということはつまり何か？
- すでにやられてきた小農による家族農業の経験をどのように発展（強化？）させていくのかという点が重要なのであって、ただ家族農業をモデルに含めることを意味しないのである。
- アグリビジネスのモデルなのか、あるいは家族農業のモデルなのか、そのような（二者択一の）問いではない。（*訳されず）
- 申立人たちが私たちと議論してきた中で重要な点は、世界各地で繰り広げられた「モデル」の数々の結果である。
- 審査役は、日本とモザンビークの農業の比較研究が重要だと述べた。
- （しかし、）申立人がずっと言ってきたのは、JICA やプロサバンナは、常に日本やブラジルなどの事例を（モザンビークの農業と）比較し、採り入れる話をするのは何故

か？なぜ、アフリカ大陸の農業の話は一切しないのかという問いである。（*通訳不明瞭）

● 松下審査役：

- ① 重要な質問だった。開発モデルについて。
- ② 多分、コミュニティをベースとすべきこと、あなたたちの農業のベストプラクティスや経験をもっと見ること。モザンビークの事例では、家族農業に焦点をあてるべき。これはコンセンサスだと思う。
- ③ 勿論、他の国々ですでに経験があり、日本もこれに含まれる。
- ④ いくつかの事例はモザンビークに使われている。
- ⑤ 同時に、国ごとの違いに配慮する必要がある。
- ⑥ 現在、グローバル化現象が起きている。フード・サプライ・マーケットへの介入の力が強い。
- ⑦ 例えば、色々な農業インプット、農薬・化学肥料など、、、より大きなスケールの効率のよい手法、、、への圧力だ。
- ⑧ 難しく重要な問いだが、考慮に入れられなければならないイシューではある。
- ⑨ 繰り返しになるが、我々のモデルは、家族ベース、コミュニティ・ベースの農業でなくてはならない。これに集中しなければならない。
- ⑩ 勿論、JICAとしては自身のビジョンがあるが、審査役としては、あなたたちのポジションを理事長に届けたい。ありがとう。
- ⑪ では、どうやって真の小農の声を聞くためのよりよいメカニズムの話に戻る。
- ⑫ 何か特定の提案はあるか？

<<長い沈黙>>

● 金子審査役：

- ① 例えば、あなたはコンサルタントがコミュニティに直接きて、小農の話を聞くべきと話していたが、どのような種類のコンサルタントのことをいっているのか？

● 申立人 15：

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted text block]

● 申立人 16 :

[Redacted text block]

● 松下審査役 : あなたは、コンサルタントのいくつかの behavior によって問題が起きたと述べていたが、例えば？

● 申立人 17 :

[Redacted text block]

● 申立人 18 :

[Redacted text block]

[Redacted]

- 松下審査役：小農の組織というときは、それは具体的に何を意味しているのか？

- 申立人 19：

[Redacted]

松下審査役： [Redacted]

[Redacted]

- 金子審査役： [Redacted]

- 申立人 20：

[Redacted]

- 申立人 21：

[Redacted]

[Redacted text block]

- 松下審査役：つまり、JICA モザンビーク事務所は、すべての団体、小農と活動する組織に関する必要な情報を持っているということか？

- 申立人 21-1：

[Redacted text block]

- 松下審査役：もし JICA が誰とコンタクトをすべきか知っているはずだということであれば、JICA は真の小農の組織とコンタクトするのにどうして成功しなかったのか？

- 申立人 21-2：

[Redacted text block]

<<長い沈黙>>

- 代理人：

- ① 代理人として、この件に関する申立人たちの間の議論（この会議の前になされた）を紹介する。
- ② （議論の中で）今申立人によって発せられた問題提起についてだ。
- ③ 何年、JICA はモザンビークで活動をしているのか？
- ④ 何年、日本政府はモザンビーク政府に協力しているのか？
- ⑤ つまり、申立人は、JICA は日本政府を代表し、モザンビークで、色々な分野のプログ

ラムを実施しており、当然様々な団体と、**長年にわたって**活動してきたに違いないと述べている。（*赤字訳さず）

- ⑥ **その上で、JICA は、自身のガイドラインや日本の援助指針（？）を踏まえ、援助機関として、自ら活動を展開する予定の（対象）地域のリアリティを知っていなければならないと述べている。（*赤字部分の通訳に混乱あり）**
- ⑦ **申立人らは、JICA の義務に関して、次の様に信じている (acreditar) と言ってきた。（*赤字を「重要と考えられている」と訳す）。**
- ⑧ JICA は operation を始める前に、対象地域の多様な現実を知る義務がある、と。
- ⑨ **JICA が取り組むと述べているその現実（実態）を（取り組む前に知らなければならない/でなければ本来取り組めない）。（*通訳は不明瞭）**
- ⑩ モザンビークでは70%の国民が小農である。これは強固な現実である。（申立人たちは、JICA は、）そのような小農に**どのようにして辿り着く（リーチす）べきか**知っている（知った上で operation を開始する）ことは義務ですらある、と述べているのだ。（*通訳：赤字を「コミュニケーションの手法」と訳すが、男性通訳補足）

<<長い沈黙>>

<<JICA 事務局から何か。審査役同士話す>>

● (58分) 金子審査役：

- ① 私は、真の小農を代表できる組織とのあり得る (possible) 対話のフレームワークについて聞きたい。
- ② JICA 事業部へのインタビューによれば、すべての人がそうサジェストしたように、また JICA としてそう思ったように、事業部長に真の小農の代表と会うつもりがあった (intended to meet)。
- ③ だからこの部長は、UNAC の代表 (representative) に会いに行ったと。
- ④ （その際）この UNAC のリーダー (leader) が、この部長に、新しい対話のフレームワークを設置するように提案した。
- ⑤ UNAC のチーフ (chief) は、この対話は政府の関与から独立していなければならない、すべてのステークホルダー、すべての小農の代表、コミュニティを招待しなければならないと述べた。
- ⑥ JICA 事業部、リージョナル部によると、この提案に応えるために、JICA は対話のプラットフォーム、つまり MCSC、を JICA はイニシエイト (initiate) したという。
- ⑦ 昨日の話で、あなたたちは MCSC への沢山の批判があると知った。
- ⑧ なので、私たちはどのポイントを (MCSC に) 改善してほしいのか。あるいは、…他のタイプの…対話プラットフォームをあなたは設立したいのか？

● 申立人 23 :

[REDACTED]

● 金子審査役 :

- ① 我々が検証 (examine) したポイント…
- ② 我々が JICA 事業部をインタビューした…
- ③ JICA 事業部をインタビューしたとき、彼らは UNAC とコンタクトしようとして、ある種の方法 (somehow) で UPC とコンタクトしようとしたと主張 (insist) した。
- ④ 彼らは次のことも主張した。[REDACTED] はリアルで最も重要なカウンターパートナーだと言っていた。
- ⑤ 彼らは、本当に、これに [REDACTED] が (MCSC の会議に?) attend するように望んでいた、と。
- ⑥ **だから、彼らは混乱していて…彼らは感じている。この対話に [REDACTED] の関与を得ることができなかった (they couldn't have [REDACTED] get involved in this dialogue)、failure を感じていると述べている。だから、彼らもまた、どのようにこの問題を解決していいかわからない。**
- ⑦ この情報に基づいて、あなたたちにもう一度聞きたい。
- ⑧ どのようなタイプの変化がもたらされるべきか？対話プラットフォームのために。

<<沈黙>>

<<申立人同士の小声の相談>>

● (1分3秒) 申立人 24 :

[REDACTED]

男性通訳: [REDACTED]

[REDACTED]

● 申立人 24-1 : [REDACTED]

● 申立人 25 :

[REDACTED] (ささやくようにいう) [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

● 他の申立人（複数）が同時に :

[REDACTED]

● 申立人 26 :

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

● 代理人 : (申立人たちに向かって) 補足していいか？

● 申立人（複数） : はい。

● 代理人 :

① もう一度、代理人として話をさせて頂きたい。

② 我々の審査役に思い出していただきたい。

③ 提案を求められたすべてのポイントについて、**申立人は信頼を前提条件とすると述べてきた。**(*通訳は「信頼が重要だ。なぜなら信頼が失われたからだ」と意訳)

● 松下審査役 : なぜ申立人は信頼を失ったのか？

<<沈黙>>

● 申立人 27 :

① なぜ????

(男性通訳が:「なぜ信頼を失ったのか」と繰り返す)

② そのことについては、すでに話したはずだ。

[REDACTED]

● 申立人 28 :

- ① ちょっと、いいですか？
- ② 私たちに、昨日と違うことを言わせようとしたとしても、**私たちは（審査役に）違うことなどいいませんか？**（*通訳は「同じことをいうだけだ」と訳する）

<<沈黙>>

● 代理人 :

- ① すみません。申立人がこの側面について話したことは、すべてこの異議申立書に書いてあることがベースとなっている。
- ② intimidation だけでなく、**一連の** manipulation があつた、manipulation の戦略があつたということについてだった。（*赤字訳さず）
- ③ そして、小農たち、ここにいる申立人を manipulate しようとした証拠 proofs も（申立書には）示されている。
- ④ 申立人の何人かは、色々な段階で、これに個人として直面させられた人達だ。
- ⑤ そして、この国の政治的なコンテクストを考慮に入れなければならない。

<<長い沈黙>>

● 金子審査役 :

- ① 一つ確認していいですか？昨日はなされたことについて。
- ② 前の年 12 月、すべては…政府のビルディングで、州の…これが理由？MCSC を信頼していないというのは？
（男性通訳が、1 月 11 日 12 日と訂正し、申立人らがそれを確認）
- ③ 1 月？
- ④ この会議のせいで信頼を失ったということか？

● 申立人 29 :

[Redacted text block]

- 女性通訳が通訳し始めた時に、代理人が「多分、重要なのは質問をもう一度確認する

ことだ」とポルトガル語で提案。

- 松下審査役：通訳を先にして下さい。
- 女性通訳：以上の通り（赤字以外）通訳し、「代理人が言っているのは、質問をもう一度確認したいということ」と英語で伝え、代理人も「そうだ」。
- 男性通訳：（金子審査役に）もう一度説明してくれるか？
- 金子審査役：
 - ① JICA 事業部によると、この MCSC は、UNAC チーフと JICA のディスカッションの結果できたものである。
 - ② JICA のフィーリングは、失敗してしまったというものである。最も重要なカウンターパートを invite できなかったため。（*男性通訳、sente-se mal/feel bad と訳し、女性通訳が「彼女は失敗 failure と言った」と指摘する。男性通訳「failure」と確認）
 - ③ 最も重要な UNAC と UPC、あなたたちを招待したかったと。
 - ④ 私の質問は、どのポイントが、特に難しいのか？
 - ⑤ 何故このアイデアを受け入れず、MCSC に参加しないのか。
 - ⑥ あなたたちのいいたいのは…警察の関与のせい？

<<沈黙>>

- 申立人 30 :

[Redacted text block]

金子審査役 :

[Redacted text block]

- 申立人 30-1 :

[Redacted text block]

● 松下審査役：

- ① その MCSC の形成プロセスがどのようになされたのかは良く知らない。
- ② 申立人の異議申立書によると、JICA はコンサルタント、MAJOL 社を、秘密裏に非民主的に契約をしたと書いてある。
- ③ そのプロセスによって、農民が被害を受けたと批判されている。
- ④ (1:21) JICA は、この点について・・・。
- ⑤ これは・・・あなたたちが申し立てしていることが・・・？（*聞き取れない）
- ⑥ MCSC の形成過程についてのあなたたちの観点から、説明できるか？
- ⑦ JICA によると、MCSC は市民社会が主導するメカニズム、非政府メカニズムだという。
- ⑧ そして、多様なパーティ（関係者）の意見を聞こうとしている。
- ⑨ Pro-ProSAVANA からも Anti-ProSAVANA からも、MCSC は、すべてのパーティ（関係者）の参加を依頼した。
- ⑩ 私の質問は、（この点について）もう一度、elaborate してもらえるか？つまり、MCSC の設立プロセスについて。あなたたちの観点から。あなたたちの批判についても。

<<長い沈黙>>

● 申立人 31：

[Redacted]

● 男性通訳：

[Redacted]

● 申立人 32：

[Redacted]

[Redacted]

● 金子審査役：

- ① 私たち？私たちの質問に関して。
- ② 真の小農が参加できる対話のストラクチャーのアイデアがほしいのだ。
- ③ JICAによると…私は JICA を代表していつているのではなく、
- ④ JICA がいったことによると、JICA が MCSC を設置した理由は、まさに真の小農の声が代表できる対話のメカニズムを作ろうとしたという。
- ⑤ しかし、あなたは MCSC を批判しているので、じゃあオルタナティブは何か、オルタナティブを聞いているのだ。

● 申立人 33：

[Redacted]

● 男性通訳：

[Redacted]

● 金子審査役：

[Redacted]

● 代理人：

- ① 申立人に注目してほしい。審査役は昨日と同じ質問をしている背景には、同じ様に思っても、別の角度から聞くことで、新たな理解を得ようとしているのかもしれない。同じ質問としても、健全なものかもしれないので、そこは理解した方が良い。

● 審査役：休憩を提案する。9時50分に再開しよう。

<<録音が冒頭切れている>>

...

- 申立人 34 :

[Redacted]

- 男性通訳が審査役に説明 :

[Redacted]

松下審査役 :

[Redacted]

- 申立人（複数） :

[Redacted]

- 松下審査役 : どのように小農の意見は意思決定に反映できるのか？

- 申立人 35 :

[Redacted]

- 金子審査役 : 違う質問だったが、そのまま教えてほしい。

- 申立人 36 :

[Redacted]

金子審査役 :

- ① 日本でも時々こういう困難がある。政府と住民・農民と。
- ② あなたが提案したことは重要である。

- ③ こういう問題が出たときにフレームワークが重要。
- ④ 日本のケースでは、法律がある。地方議会が役割を果たす。
- ⑤ 地方自治法は誰が代表者かを定めている。
- ⑥ どのような範囲の人々が代表になれるかは、選択のプロセス。
- ⑦ 議論の結論がどのように影響力を持つべきかも。
- ⑧ 政策やマスタープランへの。
- ⑨ 通常、このような意思決定の一つのメソッドは、ローカルの人々と政府の合意…。
- ⑩ これは参考にしていただくための情報。
- ⑪ あなたたちに聞いているのは、どのようなメソッドなら、あなたたちの決定が反映される、政府に対して拘束力を持つことが可能かという質問であった。

<<沈黙>>

● 申立人 37 :

[Redacted text block]

松下審査役：他の意見。コメントは？

● 申立人 38 :

[Redacted text block]

● 申立人 39 :

[Redacted text block]

● 松下審査役：

① 情報やご意見ありがとうございました。

皆さんが言っているのは、

③ しかし、モザンビークは主権国家である。

④ 政府と政府の関係においては、互いを尊敬しなければならない。

⑤ JICA は直接には政府の政治には介入できない。

⑥ JICA は、プロジェクトを通じて、プロジェクトに関わることなら何か言うことができる。

⑦ もし、JICA 理事長が政府について言えることができれば・・・例えば、intimidation を止めろとか、情報をもっと頻繁に公開せよなど・・・それは、JICA の範囲の中で出来ると思う。

● 金子審査役：

① この JICA 環境社会配慮ガイドラインの中には、

② JICA が義務を果たしたか、カウンターパートの政府を指導したかという項目がある。

③ もし JICA がもっと注意深く、・・・カウンターパート政府に、アドバイスをすべきだったということが分かれば、審査役の役割の範囲内である。

● 松下審査役：

① 他のポイント、追加、意見は？

② もう終わりに近づいているので、何か言い残したのであれば言ってほしい。これが最後のセッションとなる。

<<長い、長い沈黙>>

● 松下審査役：

① 他にあれば。

② まだ時間があるので。

③ 閉じる前に最後のリマークをもらいたい。

● 申立人 40：

[Redacted text block]

● 申立人 41 :

[Redacted text block]

③ [Redacted text block]。

● 申立人 42 :

[Redacted text block]

● 申立人 43 :

[Redacted text block]

● **金子審査役：**

- ① 詳細をありがとうございました。
- ② 私たちにとってポジティブな経験だった。
- ③ 小農が話してくれたことに。
- ④ 個人的に、初めての経験だったが、モザンビークと日本の小農のスピリットに類似のものを見出した。
- ⑤ 日本の中でも、農村政策形成のプロセスにおいては、同じような問題がある。
- ⑥ 日本にとって農地は先祖からもらった聖なる重要なもの。
- ⑦ 農民の土地の守りたいというスピリットは強く、重要なものである。
- ⑧ そのような経験、日本のプロセスから、学べるのではないかと思うし、そのような exchange を JICA にも提案したい。マスタープラン以外の…他のプロジェクト…にも反映してもらいたいと思う。
- ⑨ もう一度、率直なご意見に感謝したい。

● **松下審査役：**

- ① 積極的な参加をありがとうございました。
- ② 私にとって、初めてのモザンビーク訪問だった。
- ③ 家からここまで辿り着くのに 30 時間かかった。
- ④ 重要な会議だったので、1.5 日だったが、私には、何日もの議論に感じた。
- ⑤ JICA 環境社会配慮ガイドラインの審査役として、とても責任を感じる。ハードな仕事だと思う。
- ⑥ 私はあなたたちの問題をしっかり聞いたと思う。
- ⑦ モザンビークで何が起きているのか。あなたたちのコミュニティで。そして社会で。
- ⑧ 多様な人権侵害、土収奪、intimidation、そしてその他の問題。
- ⑨ これらはきちんと take note された。
- ⑩ しかし、私たちのマンデートは JICA の関与に限られている。
- ⑪ 同時に、重要なのは、影響を受けている人々の声を直接聞くことでもある。
- ⑫ また同時に、実際の人々の暮らしを見たい。コミュニティの暮らし、農業のあり方を。
- ⑬ 残りの日でその機会があるのを願っている。農村や畑を。
- ⑭ 私たちは、他のステークホルダーの意見も聞いてみる。
- ⑮ そして、色々な意見を聞いた上で、良い報告ができればと思う。
- ⑯ もう一度ありがとうございました。積極的な参加に。

- ⑰ 幸運と成功を。
- ⑱ ありがとう。